

社会科

社会科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
基礎知識を習得し、様々な資料に触れ、複数の資料から様々な情報を読み取り、物事を考察する力を付ける。	社会的事象について、様々な角度からとらえ、現代社会と結び付け、自分の言葉で表現できる力を付ける。

学年	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣（家庭学習）が身に付いていない。ア 資料から読み取れることを自分の言葉で説明することが苦手である。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で問題集等の課題演習に取り組む時間を定期的に設け、学習の定着を図る。ア 授業の発問の中に、資料の読み取り課題を多く取り入れていく。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 通年 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 定期テストやワークシートで、説明をする発問・設問の正答率に課題がある。ア 複数の資料を読み取る課題に苦手意識が見られる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 説明を求める課題を意図的に活用しながら、主体的に取り組めるように意見交換をする機会を取り入れる。ア 単元末で資料を活用してレポートを作成する課題に取り組む。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 7月～ 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 3年になり、興味をもって学習に取り組む姿勢は見られるが、1・2年次の学習内容が定着していない。ア 複数の資料を読み取り、設問に答える課題に苦手意識が見られる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 受験に向けて復習問題や都立入試の問題などに取り組み、力を付けていく。ア 班活動やICTの活用を通して、自分の書いたものを他の生徒と共有し、視野を広げる機会を設ける。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 11月～ 通年 	

<p>■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題やレポートをロイロノートで作成・提出 新聞やレポート作成等の調べ学習 自分の意見をロイロノートで提出・共有・発表 	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> keynoteを活用し、授業に見通しをもたせる。 単元を貫くテーマを設定し、単元の最後に振り返りやレポート作成に取り組ませる。
---	---

